

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

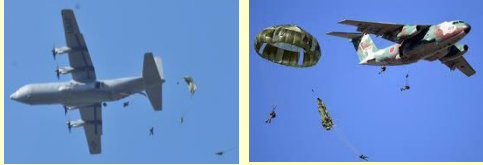
令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

空挺作戦



水陸両用作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 熊本県における訓練について

本演習において熊本県内で実施する訓練は、

- 陸上作戦（協同基地警備訓練）
健軍駐屯地、高遊原分屯地

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

熊本県内で実施を検討している訓練内容 陸上作戦(協同基地警備訓練)

陸上自衛隊及び航空自衛隊の部隊が自衛隊の基地に展開し、各部隊と協同基地警備、防護施設の構築訓練、小型無人航空機の飛行訓練、航空自衛隊が保有する装備品の防護訓練、高遊原分屯地におけるヘリコプターの飛行訓練を実施します。

なお、実弾は使用せず、小型無人航空機は人口密集地の上空を飛行しません。

【期 間】令和7年10月20日(月)～10月31日(金)のうち、5日間程度(準備・撤収期間を含む)

※夜間訓練、空包使用を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊：西部方面隊、第6師団、第2高射特科団(中距離地对空誘導弾一式)(UH-1×2機)

航空自衛隊：北部高射群(ペトリオットシステム一式)

訓練予定場所



人数等

基地	展開する部隊
健軍駐屯地	20連隊等 約100名
高遊原分屯地	第6飛行隊 約5名

訓練イメージ



協同警備訓練



防護施設の構築訓練



小型無人航空機の飛行訓練



空自装備品の防護訓練



UH-1の飛行訓練